



令和3年10月22日 第6号

安方中だより

大田区立安方中学校

「ならぬことはならぬものです」

校長 佐藤 彰

私の故郷である福島県にあった会津藩には、「什（じゅう）」とよばれる子どもの教育のための組織がありました。同じ地域に住む6歳から9歳までの藩士の子ども10人ほどでつぐられ、会津藩士としての心得を学びました。その什にあった決まりを「什の掟（じゅうのおきて）」と言いました。紹介すると、

- 一 年長者の言うことに背いてはなりません
- 一 年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 一 虚言（うそ）を言うことはなりません
- 一 卑怯な振舞をしてはなりません
- 一 弱い者をいじめてはなりません
- 一 戸外で物を食べてはなりません
- 一 戸外で夫人と言葉を交えてはなりません

このあと、表題にある「ならぬことはならぬものです」で締めくくられています。今風に言うと、「ダメなものはダメ」という意味です。江戸時代につくられたものなので、今の時代にはそぐわないものもありますが、今の時代だからこそ学びたい価値観が含まれていると思います。

現在は、企業も学校も説明責任が強く求められています。私たちは学校も、「どうして成績が3なのか、なぜそのような指導をしたのか」などを、保護者や生徒の皆さんに丁寧に説明する責任があります。しかし、時として説明の必要がないこともあるのではないかと考えています。それは、反論の余地なく絶対に間違えていることに対してです。例えば、人の命を傷つけてはいけない理由・・・説明しようとするれば、いくつも答えはあるでしょうし、どれも正しいのだと思います。しかし、人の命を傷つけたり奪ったりしてはいけない理由などありません。ダメなものはダメだからです。

什の掟にあるように、人をいじめてはいけない理由などありません。絶対にダメなものはダメだからです。私たち大人は、いじめなどの絶対に間違えていることに対しては「ならぬものはならない」という、毅然とした強い姿勢で臨むのも時として必要であると感じています。

著名な数学者である藤原正彦氏は、著書である『国家の品格』の中で「什の掟」について次のように述べています。「数学の世界でさえも、論理では説明できないことがある。ましてや、一般の世界では、論理で説明できないことの方が普通です。例えば、「人を殺してはいけない」理由だって、論理では説明できません。この世の中の事象のすべてを論理で説明することなどできない。だからこそ、「ならぬものはならぬものです」と価値観を押し付けたのです。

本当に重要なことは、親や先生が幼いうちから押し付けて良い。もちろん子どもは、反発したり後になって別の新しい価値観を見出したりするかもしれない。それはそれで良い。初めに何かの基準を与えないと、子どもとしては動きがとれないのです。論理で説明できない部分をしっかり教えるというのが日本の国柄であり、そこに国民の高い道徳の源泉があったのです。（要約）

私たち教員や親は、子どもに対して善悪について十分に説明し、理解させながら指導やしつけを行うことが基本です。しかし、時には「なぜ? どうして?」という問いを許さずに、「ならぬことはならぬもの」という価値観を伝えていくことも、重要な役目ではないでしょうか。

「進路説明会」

10月8日(金)に進路説明会を行いました。保護者の皆様と生徒を対象に、都立高校・私立高校それぞれの受験(験)のしくみや今後の日程等について説明をしました。

当日の挨拶でも話しましたが、受験の取り組みは「早めに動く・早めに終わらせる」ことが大切です。早めに志望校をいくつか絞り込み、具体的な努力をする。願書や必要書類の作成も、早めに取りかかり早めに終わらせる。締め切りギリギリの仕事というのは、どうしても間違いが起きやすくなります。あとは、学年の先生と生徒・保護者の皆様がよく話をして、意志や方向性を確認しながらすすめていくことが大切であると思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【進路説明会の様子】

「表彰」おめでとう!!

- 【吹奏楽部】 ○第61回東京都吹奏楽コンクール (B組) 銀賞
- 【野球部】 ○令和3年度大田区中学校シード権大会 第3位
- 【剣道部女子】 ○令和3年度大田区中学校新人大会 優勝
- 【剣道部男子】 ○令和3年度大田区中学校新人大会 準優勝



【吹奏楽部】



【野球部】



【剣道部女子】



【剣道部男子】

お知らせ

本校の学校ホームページに、「安方中学校ダイアリー」という項目を設け、毎日更新しています。日々の生徒の様子や先生方の取り組み、校舎内の様子などをアップしています。学校に気軽に来ることができない今般、少しでも学校の様子がお伝えできればと考え取り組んでいます。ぜひ、ご覧ください。